



GLORY writes a new STORY



GLORY

グローリー株式会社
2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月7日

1

・決算ダイジェスト

代表取締役社長 原田 明浩

2

・2027年3月期 第1四半期 実績 ・2027年3月期予想の概要

取締役 IR担当 藤田 知子

[注意事項]

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の構成比は、千万円以下を切り捨てた数値を基に算出しております。
なお、増減率につきましては、決算短信と統一しております。



1

決算ダイジェスト

代表取締役社長 原田 明浩

2027年3月期 第1四半期 連結業績 結果 → 増収増益

(億円)

	売上収益	前年同期比		営業利益	前年同期比		親会社の所有者に帰属する 四半期利益	前年同期比	
IFRS (国際会計基準)	805	+83	+11.6%	48	+16	+49.8%	34	+19	+125.3%

- 前年同期と比べ**増収増益**
- 海外市場は、売上収益、営業利益とも**順調に推移**
- 国内市場は、金融、流通・交通の販売は**回復基調**

2027年3月期 通期 連結業績 予想 → 変更なし (2026年5月15日の通期決算発表の公表値から変更なし)

(億円)

	売上収益	前期比		営業利益	前期比		親会社の所有者に帰属する 当期利益	前期比	
IFRS (国際会計基準)	3,600	+205	+6.0%	320	+23	+7.6%	200	+47	+30.0%

- 海外市場は、製品・サービスの販売拡大により、**さらなる成長を見込む**
- 国内市場は、金融、流通・交通を中心に特別需要の反動減から**業績回復を見込む**

半導体関連 部品入手難による業績への影響

入手困難部品

入手難 × : メモリ、ストレージ、CPU、プリント基板、チップ抵抗、ハーネス等
解消 ○ : ナフサ関連であるシンナー、樹脂材料、ベルト、ナイロン等

① 部品価格上昇によるコスト影響

- **今年度の部品価格上昇影響**（現時点予想） ≡ **約12億円/年のコストアップ**

売上収益に対して **▲0.3%**、営業利益に対して **▲3.7%**

部品価格上昇による業績への影響は7月以降に発生

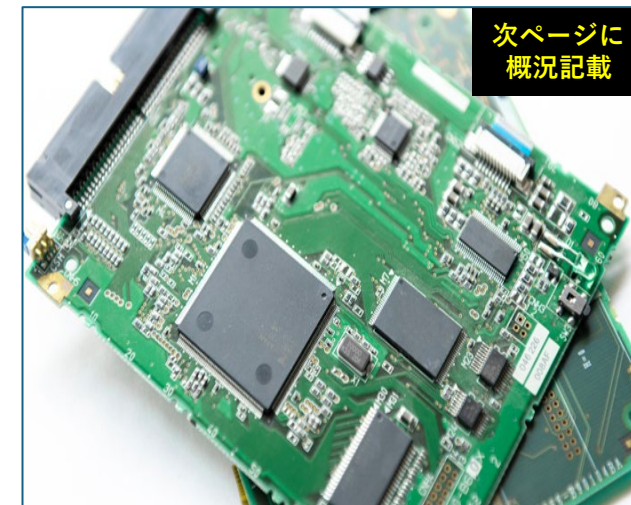
- **価格アップ率の一例**（2025年11月比較） --- 価格アップも予断を許さない状況

ストレージ/SSD	メモリ	DRAM	素基板	PCBA部品
2～3倍	時価(10倍～)	5～10倍	2倍	数十%

② 部品入手難による生産/販売への影響

- **顧客の要求日程に対し、一部機種で生産遅延・販売/納入遅延が発生**
上期の販売影響額 ≡ 約12億円 → 第2四半期以降に販売/納入が延伸

次ページに
概況記載



年間業績予想

部品入手難による影響（コスト・納期）はあるものの、第1四半期の業績結果、及び今後の調達見通し、為替影響などを総合的に勘案し、**通期の連結業績予想は据え置いております**

AI需要増により、半導体やPCB基材が急激に不足の状況へ変化

メモリ、ストレージ、CPU、プリント基板などの入手納期が軒並み長期化、供給制約、そしてコストアップ

- ・AI需要増でPCB基材が不足し、納期長期化と価格上昇が進行。
- ・AI用の高性能基材に需要が集中。それが汎用品まで波及し、PCや部材などの原価を圧迫。
- ・メモリー高騰や地政学リスクも重なり、供給網全体が不安定化。

AIインフラ投資が押し上げてきたのは、CPUやサーバー向けSSDの需要だけではない。

調達現場では、その圧力がプリント基板（PCB）と基材にまで及び、**納期の長期化と価格上昇が同時に進み始めている**。

半導体不足の次は、素基板を形成する銅張積層板（CCL）やガラス繊維クロス、銅箔といった材料層の供給が詰まってくるという予測。いま起きているのは一時的な需給の乱れではなく、AIサーバー向け高多層PCBの増加が、PCB基板材料の生産配分そのものを書き換え始めたという事実。

高ガラス転移材や低誘電率材のような高性能基材に需要が集中し、その**影響が標準材やPC向け製品の生産へ広がり、さらにメモリー価格の急騰、物流費やエネルギー費の上昇が重なり、PCや周辺機器の原価全体を押し上げる構図になってきた**。

PCB基板の製造に使う基材の供給はここ数カ月で大きく変化。PCB基板材料が不足した場合は、製造工程そのものが止まりやすくしかもPCBは、サーバー、PC、通信機器、電源機器まで広く使われるため影響範囲が大きい。**一部サプライヤーでは割当制度も始まった**
前年同期比で、先端材料で10～15%の値上り、基材の一部セグメントで20～30%の上昇、DRAMは60%上昇、NANDフラッシュ75%上昇
問題は値上がりだけではない。必要な時期に必要な量を確保できるかどうか、調達の成否を左右する段階に入っている。

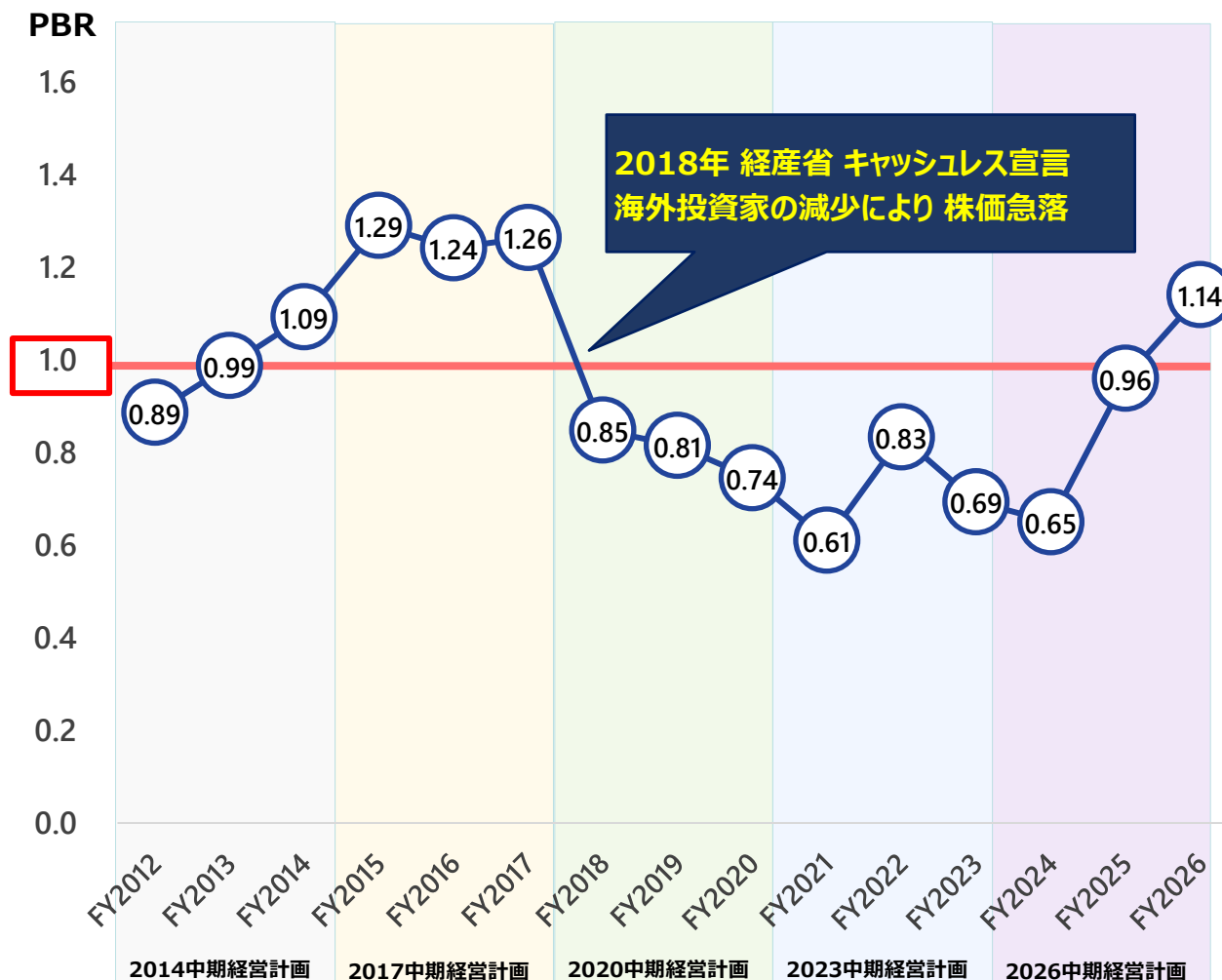
需要を引っ張っているのはAIサーバー向け高多層PCBであり、汎用品のように短期間で大きく増産しにくいいため、需要が一段高い領域へ偏り、供給側は目詰まり。これらにより、**多くのPCB工場でリードタイムが6カ月から1年分以上へ**。

背景には、DRAMメーカーがHBMやサーバー向けへ生産能力を再配分し、NANDでもAIサーバーとデータセンター向け需要が価格全体を押し上げている事情がある。

販売価格への転嫁、製品構成の調整、あるいは利益率の圧縮のいずれかを迫られる局面に入りつつある。

出典：XenoSpectrum「メモリ、ストレージ、CPUの次はプリント基板の価格上昇か：6カ月納期が示す供給制約の次段階」を基に当社作成

当社PBRの推移



海外事業が大きく成長

- ① 海外事業の拡大
- ② グローバルレベルの大手顧客の獲得
- ③ IFRS移行（海外競合他社と比較可能）

これらによって海外市場における当社のプレゼンスが向上した今、グローバル資本市場との対話を強化



海外投資家との対話を本格化

2026年7月：ニューヨーク 9件	投資家と面談
ロンドン 10件	投資家と面談
2026年9月：香港	（面談予定）
シンガポール	（面談予定）

今後も対話を継続

2

2027年3月期 第1四半期実績

及び

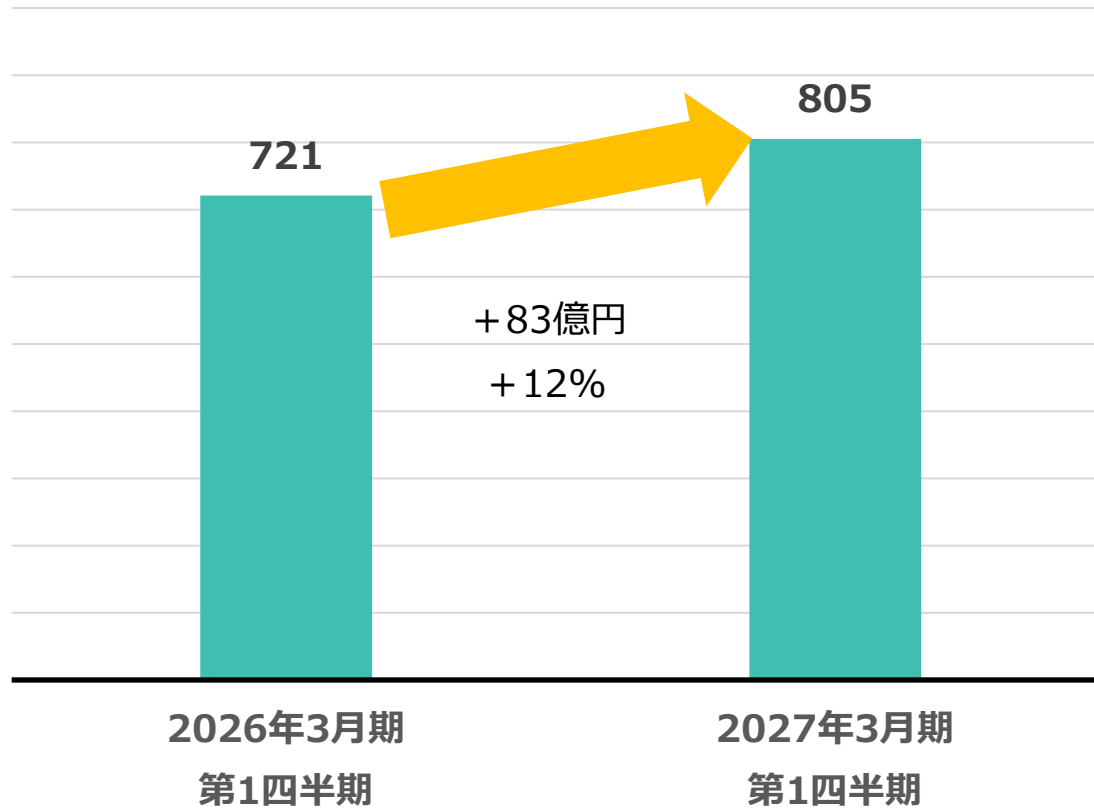
2027年3月期予想の概要

取締役 IR担当 藤田 知子

金 融		・ プラス金利を背景に金融機関の業績は好調であり、設備投資意欲が高い。 ・ 人手不足から業務効率化・厳正化のニーズが強く、現金処理機・非現金製品ともに、需要が旺盛である。
流通・交通		・ フロント向けについては、セルフ化需要が旺盛で、レジつり銭機、セルフオーダーキオスクなどの需要が拡大している。 ・ バックオフィス向けについては、現金管理の効率化の需要が旺盛で、入出金機の需要が拡大している。
遊 技		・ スマート遊技機の導入スピードが鈍化しつつあることから、関連機器への需要が減速している。
海 外	米 州	中米地域において、現金管理の厳正化等のニーズが高まっている。
	欧 州	リテール市場において、引き続き需要が継続している。
	ア ジ ア	リテール市場において、製品に対する需要が出て来ている。

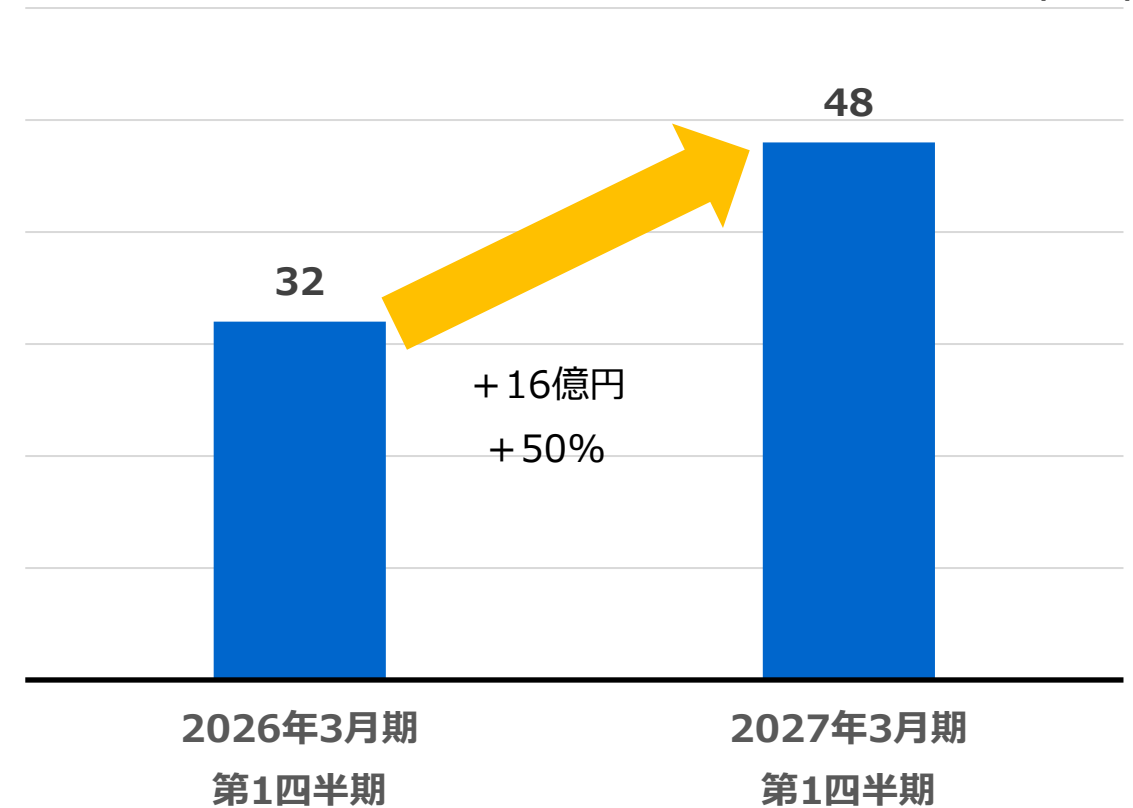
売上収益

(億円)



営業利益

(億円)



ドル
ユーロ

145円
164円

160円
185円

145円
164円

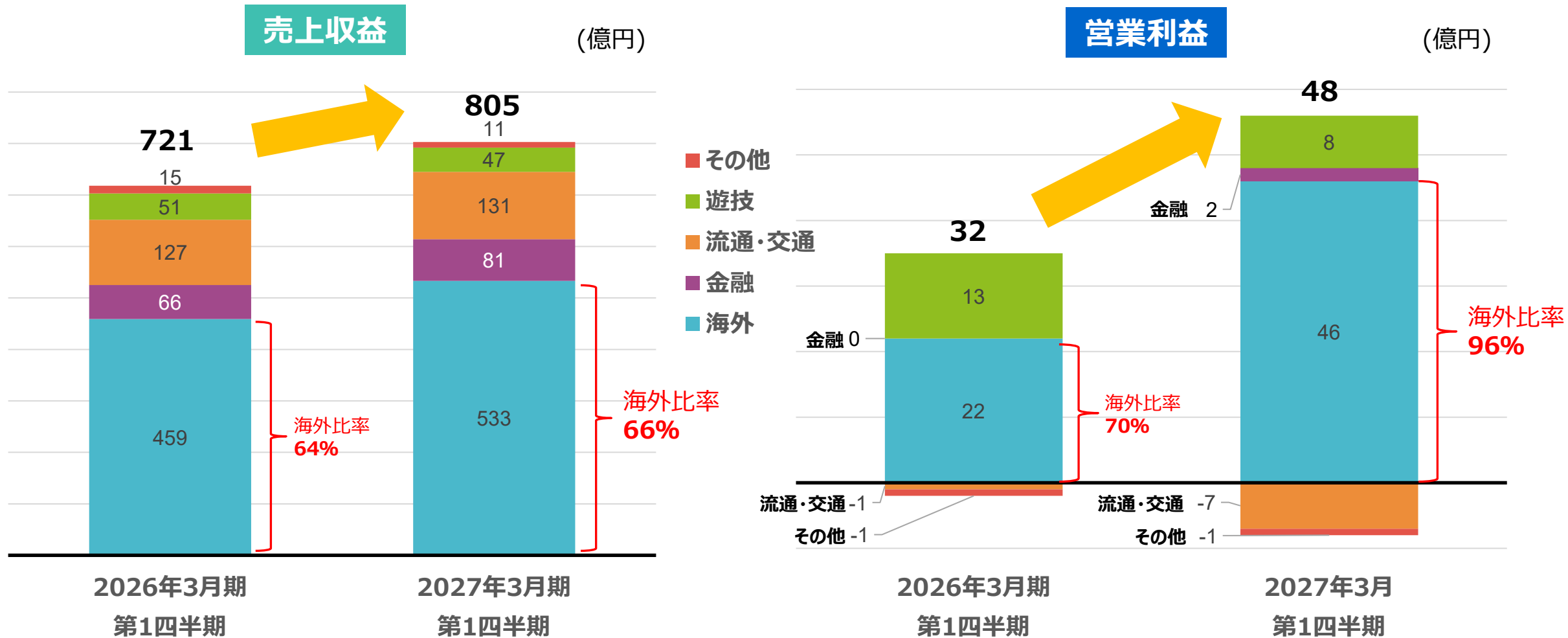
160円
185円

全般的に市場の需要は堅調、円安も追い風に。

2027年3月期 第1四半期 セグメント別貢献度

[IFRS]

GLORY

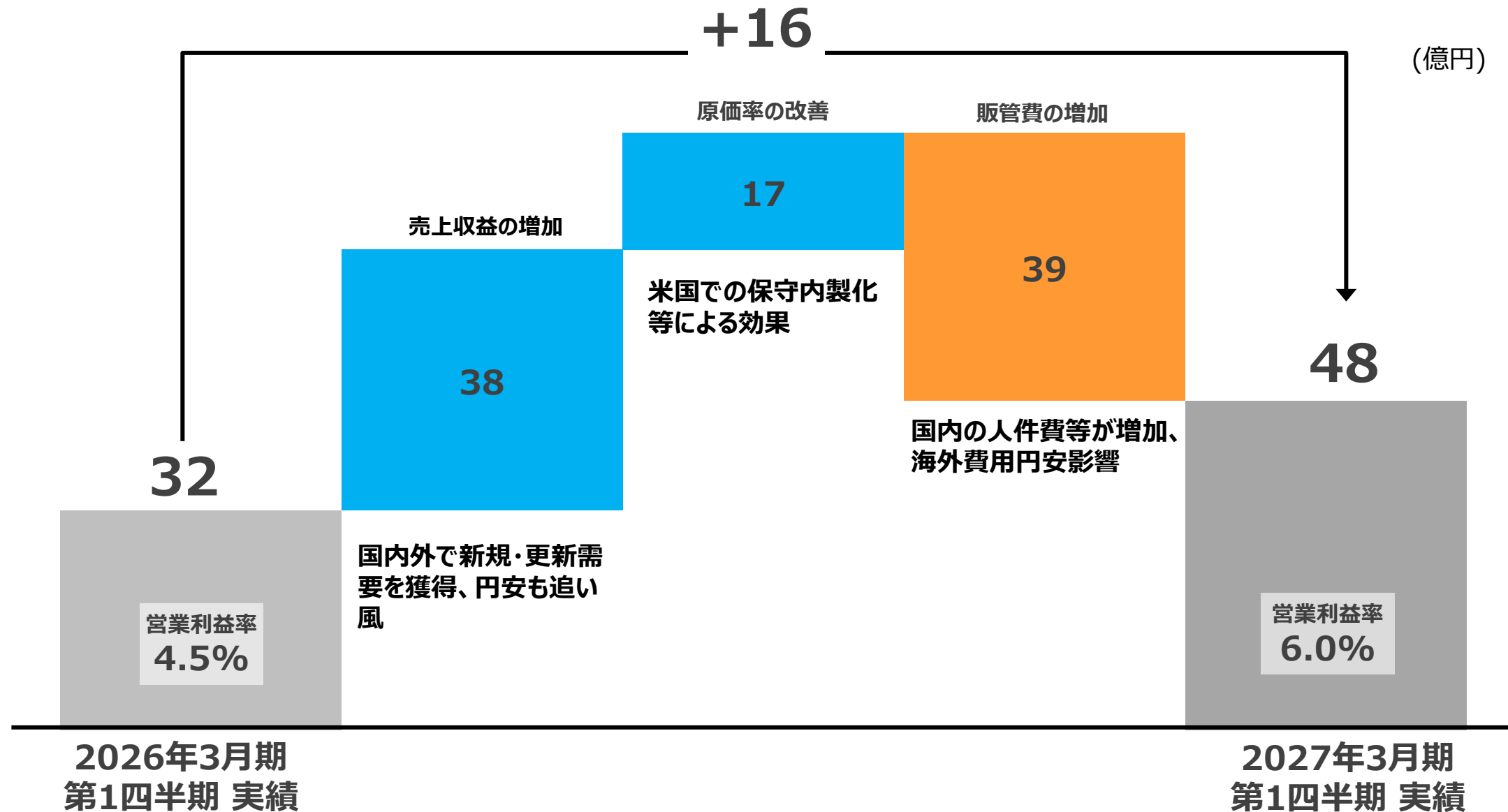


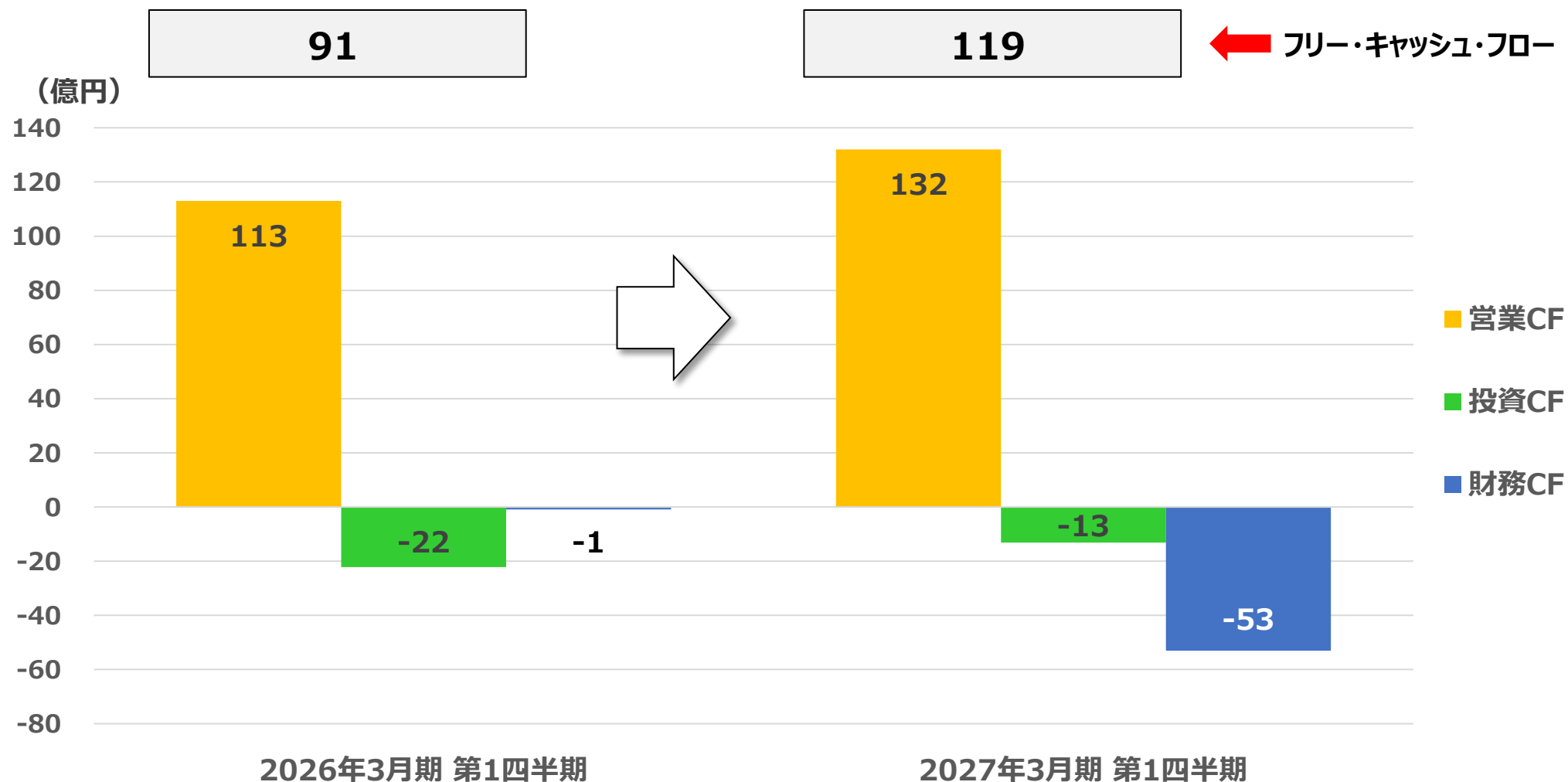
海外では販売堅調・円安効果があった一方、国内では一部販売延伸もあったため
海外の貢献度が大幅に増加

2027年3月期 第1四半期 営業利益 増減要因

[IFRS]

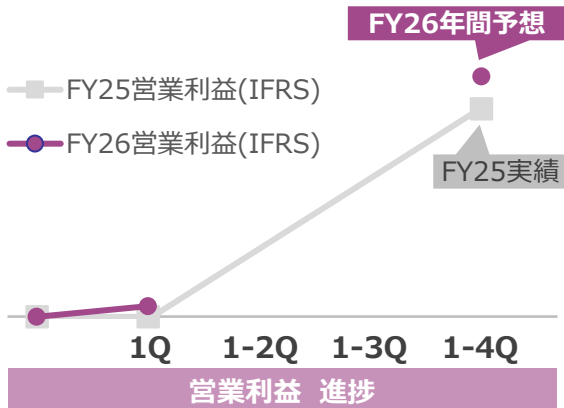
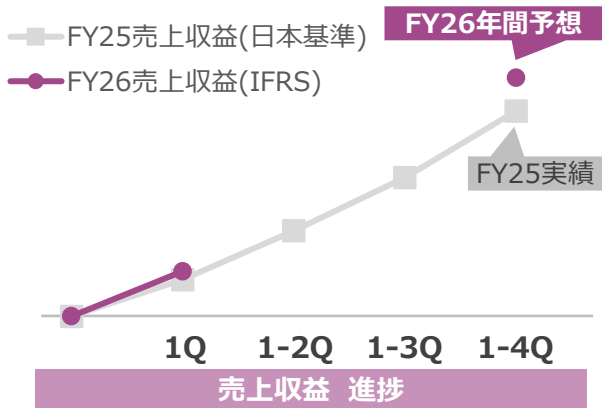
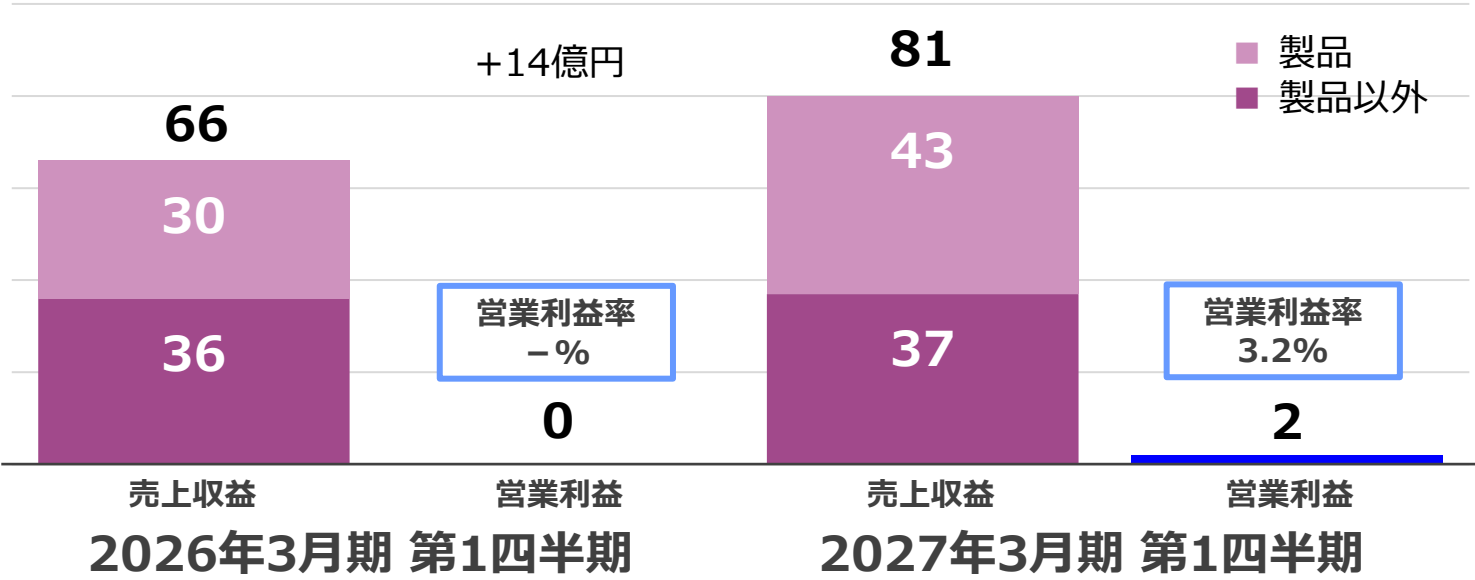
GLORY





前年同期を上回る営業CFを創出、自己株取得の増加等から財務CFは減少

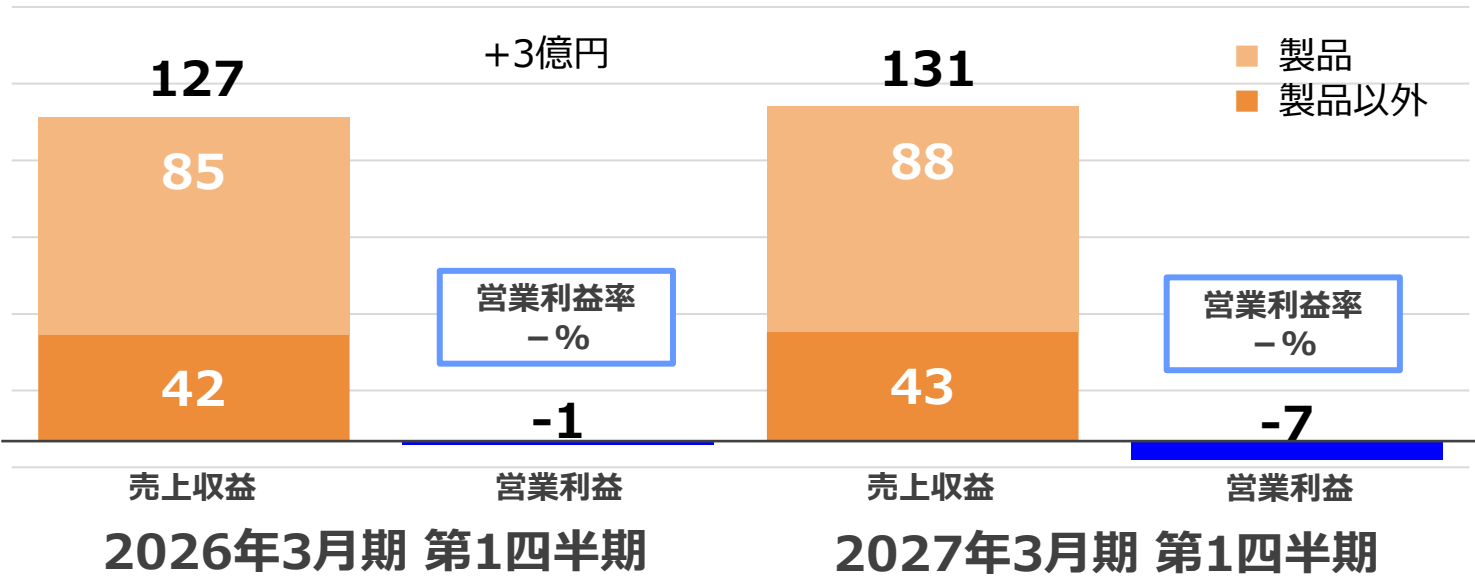
(億円)



前年同期との増減要因

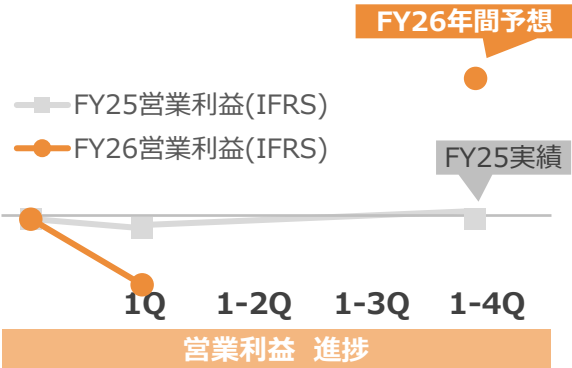
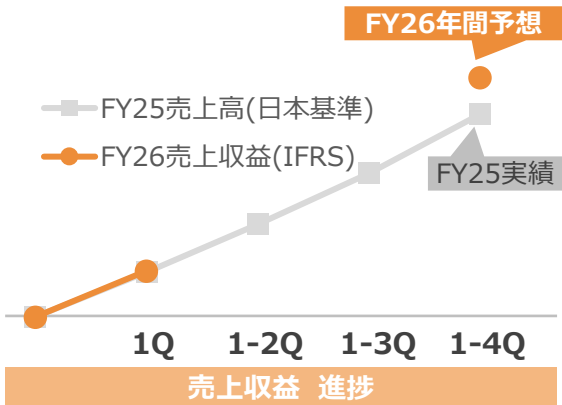
- 売上収益
新紙幣発行に関する特別需要の反動減から需要が回復基調。
主要製品のオープン出納システムや窓口用紙幣硬貨入出金機の販売増加等により増収。
- 営業利益
主要製品の売上収益の増加により、増益。

(億円)

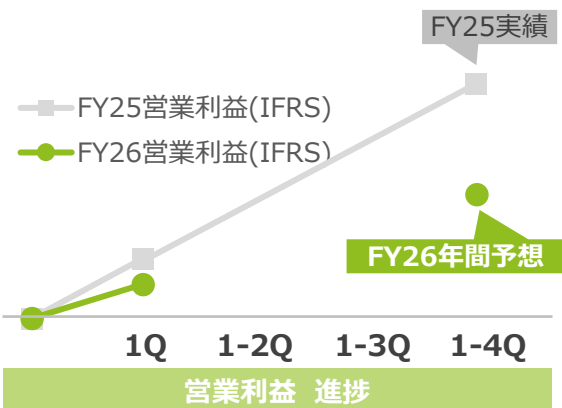
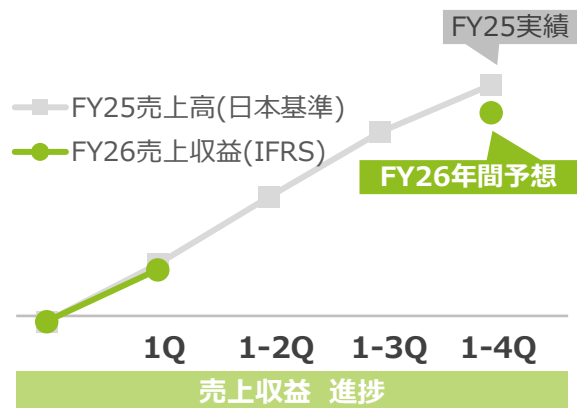
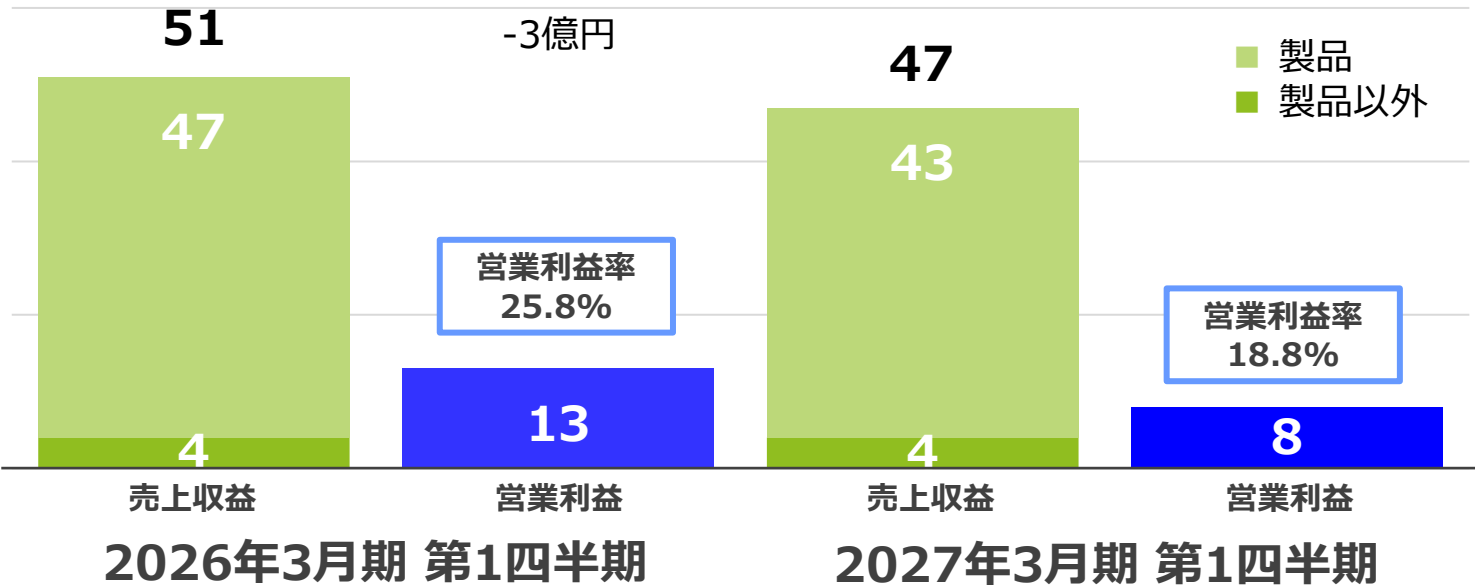


前年同期との増減要因

- 売上収益
市場の需要は旺盛であるものの、部材調達難により販売の一部が延伸したことから、主要製品のレジつり銭機や入金機は微増にとどまった。
- 営業利益
人件費等が増加したが、上記の通り売上収益が微増にとどまったため営業損失が拡大した。



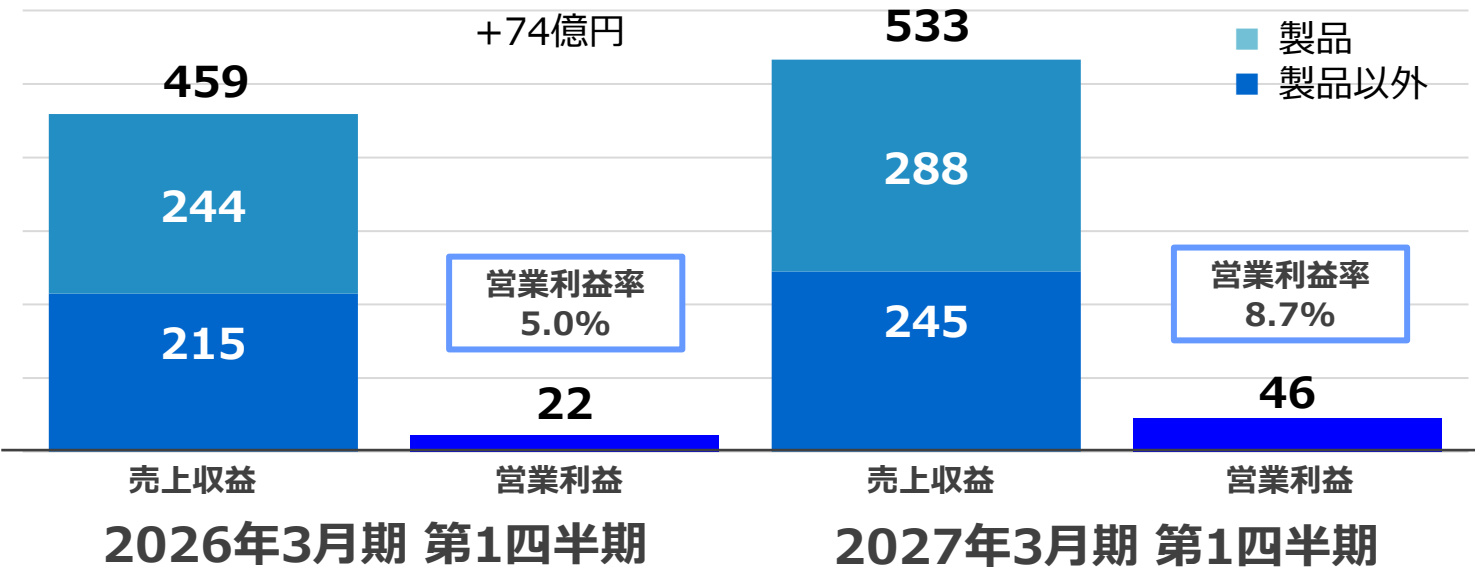
(億円)



前年同期との増減要因

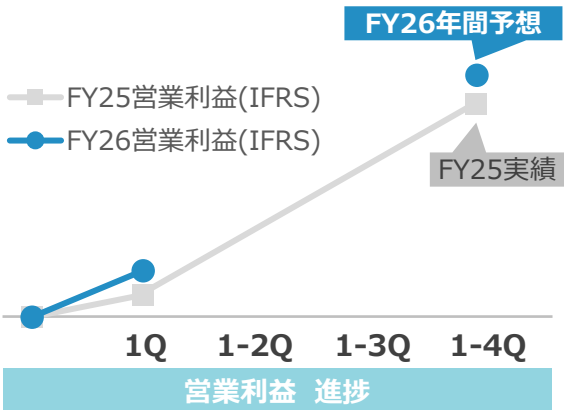
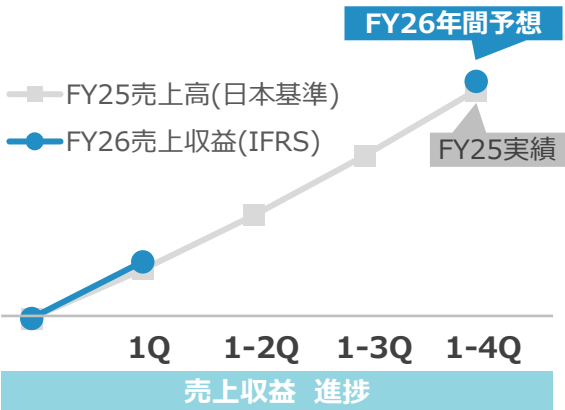
- 売上収益
スマート遊技機の導入ペースが鈍化し、主要製品のカードシステムの販売が減少。
- 営業利益
売上収益の減少に伴い減少。

(億円)



前年同期との増減要因

- 売上収益**
74億円の増収。うち円安による影響は概算45億円。
全般的に需要も旺盛で売上収益は堅調。
- 営業利益**
米国での保守内製化等の効果。



ECB ユーロプロジェクト

(主要プロジェクト：デジタルユーロの導入計画と並行して、ユーロ紙幣を全面刷新)

2026年7月23日、ECBは新紙幣デザイン候補10案を公開し、市民投票を開始

欧州は現金を使い続ける姿勢

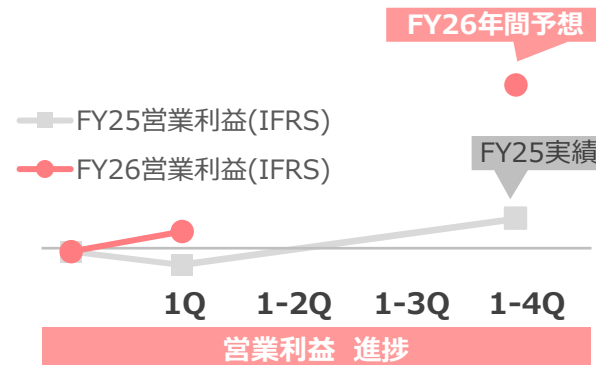
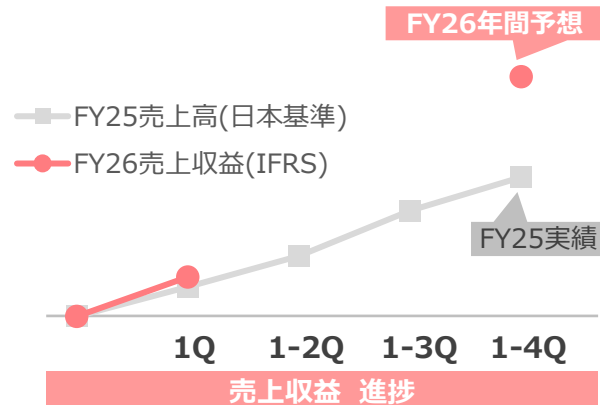
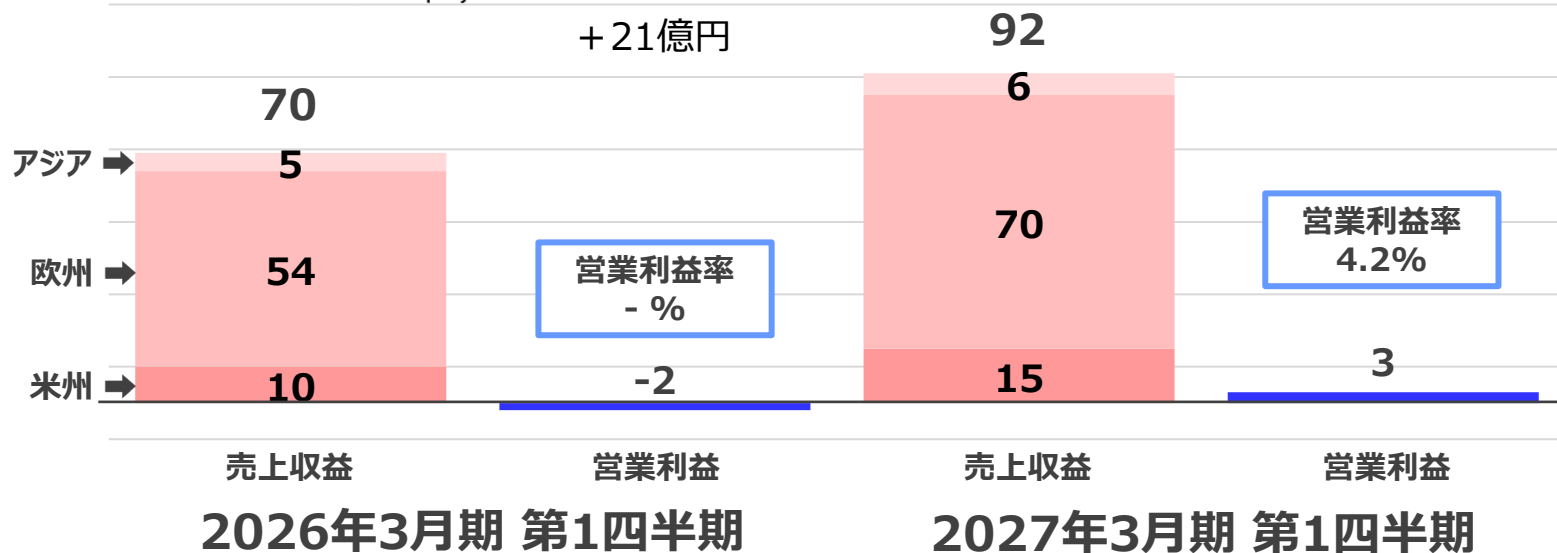


よって、現金インフラ更新は続く。
2029年頃から改刷特需を見込む。
段階的に発行されるため、数年間続く可能性。





(億円)



前年同期との増減要因

- 売上収益**
 自動化・省人化ニーズが継続し、各地域での販売が増加。
- 営業利益**
 売上収益の増加、及びコスト改善により、黒字化。

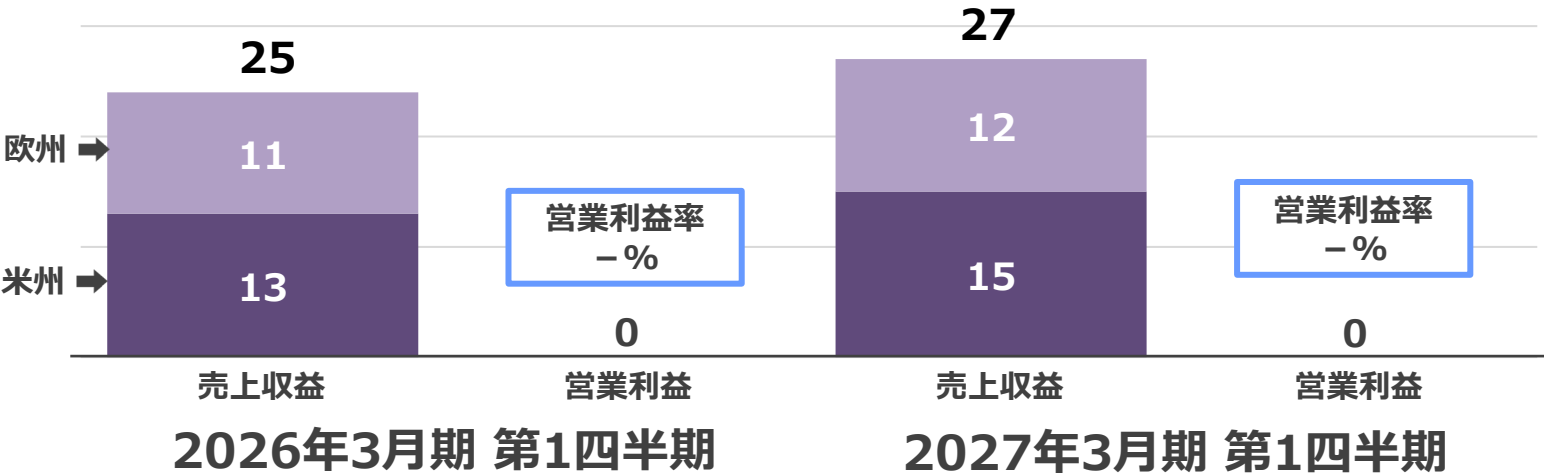
トピックス

- アジアでの新規顧客獲得**
 シンガポールの手スーパーにAcrelecとGLORYが共同開発した「C27」を販売。



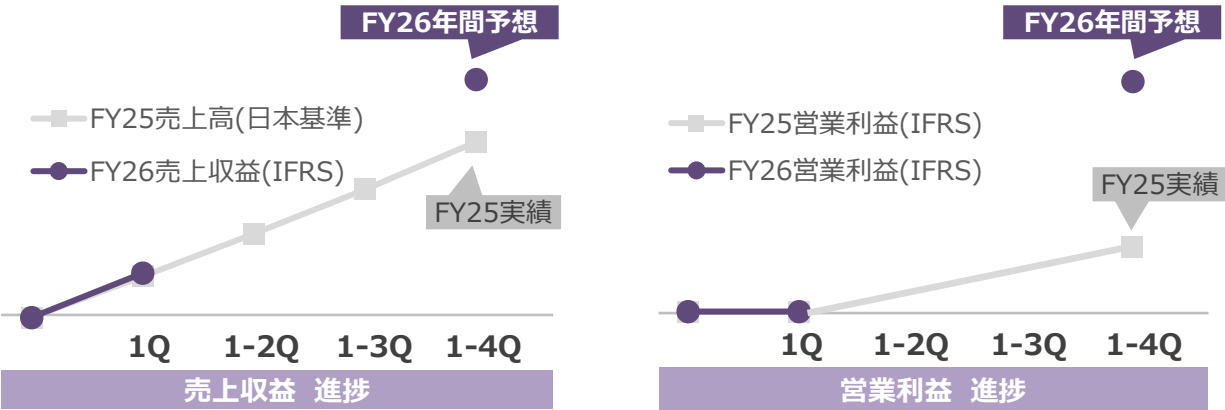


+1億円



前年同期との増減要因

- 売上収益
米国での通商政策による顧客の投資抑制等により新規顧客の獲得が遅延している状況が続いている。
- 営業利益
開発投資や営業体制強化の影響が続き、ブレークイーブンが続く。



億円	第1四半期		前年同期比		米ドルベース
	2026年3月期	2027年3月期			
米州	208	213	+4	2.1%	-7.4%
内 GGS	184	182	-1	-0.9%	-10.2%
内 Acrelec	10	15	+4	42.7%	+29.4%
内 Flooid	13	15	+1	10.9%	+0.5%
欧州	214	272	+58	27.1%	+15.3%
内 GGS	100	133	+32	32.6%	+20.2%
内 Sitrade	47	56	+8	18.6%	+7.5%
内 Acrelec	54	70	+16	29.4%	+17.3%
内 Flooid	11	12	0	4.3%	-5.4%
アジア	36	47	+11	31.6%	+19.3%
内 GGS	30	41	+10	34.9%	+21.7%
内 Acrelec	5	6	0	17.0%	+6.0%
合計	459	533	+74	16.1%	+5.3%
内 GGS	315	357	+41	13.7%	+2.6%
内 Sitrade	47	56	+8	18.6%	+7.5%
内 Acrelec	70	92	+21	30.4%	+18.2%
内 Flooid	25	27	+1	7.9%	-2.2%
為替 レート	ドル	145 円	160 円	15 円の円安	
	ユーロ	164 円	185 円	21 円の円安	

* 大口案件の反動

3 | データセクション

通期業績予想は修正していません。
資料につきましては、2026年3月期 通期決算発表時のものを再掲しています。

売上収益

- ▲ 海外リテール・飲食市場の成長
- ▲ 国内更新需要の回復

3,395

6%増

3,600

(億円)

2026年3月期

2027年3月期予想

営業利益

- ▲ 海外は売上の伸びから利益が14%増加
- ▲ 国内は売上回復に伴い利益も回復基調

297

8%増

320

(億円)

2026年3月期

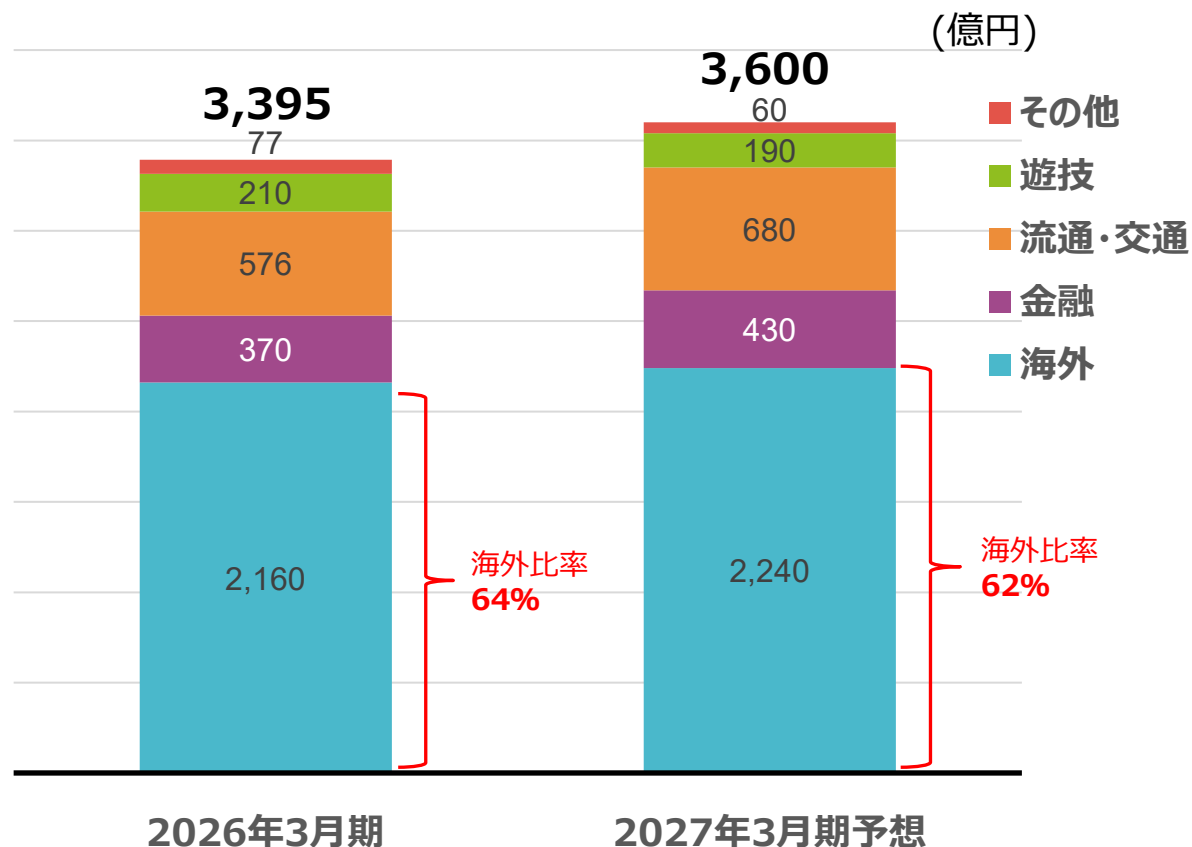
2027年3月期予想

2027年3月期 通期 セグメント別貢献度

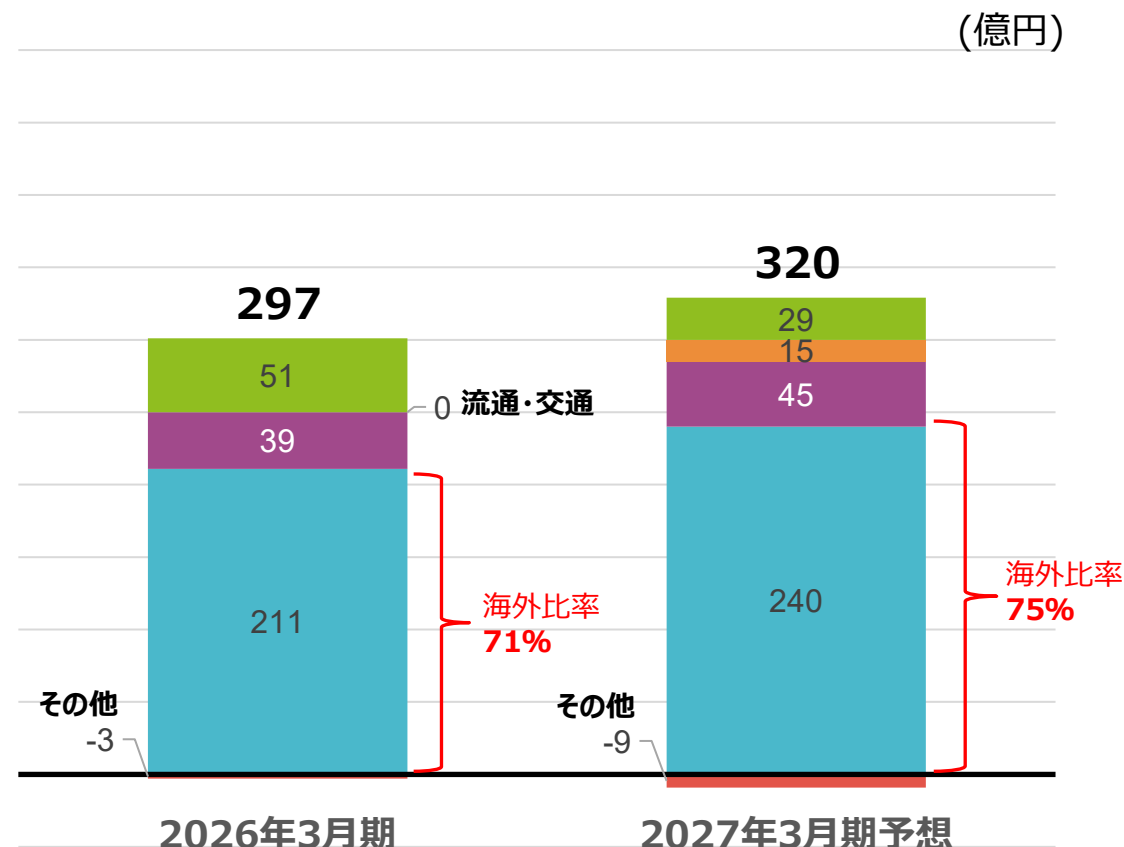
[IFRS]

GLORY

売上収益



営業利益



国内の新紙幣関連需要の期間を終え、**海外の貢献度が増加傾向に**

億円	2025年3月期		2026年3月期				2027年3月期			
	実績	売上収益 比率	実績	売上収益 比率	前期比		予想	売上収益 比率	前期比	
					増減額	増減率			増減額	増減率
売上収益	3,686	100.0%	3,395	100.0%	-291	-7.9%	3,600	100.0%	+205	+6.0%
営業利益	420	11.4%	297	8.8%	-123	-29.3%	320	8.9%	+23	+7.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	245	6.6%	153	4.5%	-92	-37.6%	200	5.6%	+47	+30.0%

為替 レート	米ドル	153 円	151 円	150 円
	ユーロ	164 円	175 円	170 円

億円			2025年3月期		2026年3月期				2027年3月期			
			実績	売上構成比率	実績	売上構成比率	前期比		予想	売上構成比率	前期比	
				営業利益率		営業利益率	増減額	増減率		営業利益率	増減額	増減率
海外市場	売上収益		2,100	57.0%	2,160	63.6%	+60	+2.9%	2,240	62.2%	+80	+3.7%
	営業利益		180	8.6%	211	9.8%	+31	+17.2%	240	10.7%	+29	+13.7%
金融市場	売上収益		544	14.8%	370	10.9%	-174	-32.0%	430	11.9%	+60	+16.2%
	営業利益		78	14.5%	39	10.5%	-39	-50.0%	45	10.5%	+6	+15.4%
流通・交通市場	売上収益		697	18.9%	576	17.0%	-121	-17.4%	680	18.9%	+104	+18.1%
	営業利益		87	12.5%	0	-	-87	-	15	2.2%	+15	-
遊技市場	売上収益		277	7.5%	210	6.2%	-67	-24.2%	190	5.3%	-20	-9.5%
	営業利益		77	27.9%	51	24.3%	-26	-33.8%	29	15.3%	-22	-43.1%
その他	売上収益		70	1.9%	77	2.3%	+7	+10.0%	60	1.7%	-17	-22.1%
	営業利益		-3	-	-3	-	0	-	-9	-	-6	-
合 計	売上収益		3,686	100.0%	3,395	100.0%	-291	-7.9%	3,600	100.0%	+205	+6.0%
	営業利益		420	11.4%	297	8.8%	-123	-29.3%	320	8.9%	+23	+7.7%
為替レート	ドル		153 円		151 円		2 円の円高		150 円		1 円の円高	
	ユーロ		164 円		175 円		11 円の円安		170 円		5 円の円高	

億円	通 期								
	2025年3月期	2026年3月期	前期比		米ドルベース 増減率	2027年3月期 予想	前期比		米ドルベース 増減率
			増減額	増減率			増減額	増減率	
米州	1,008	989	-19	-1.9%	-0.7%	1,030	+41	+4.1%	+4.6%
内 GGS	875	889	+14	+1.6%	+2.8%	885	-4	-0.4%	+0.1%
内 Acrelec	63	51	-12	-19.0%	-17.9%	70	+19	+37.3%	+37.1%
内 Flooid	70	49	-21	-30.0%	-28.4%	75	+26	+53.1%	+50.9%
欧州	900	1,000	+100	+11.1%	+12.5%	1,030	+30	+3.0%	+3.5%
内 GGS	453	487	+34	+7.5%	+8.8%	510	+23	+4.7%	+5.5%
内 Sitrade	166	200	+34	+20.5%	+22.2%	180	-20	-10.0%	-9.9%
内 Acrelec	231	256	+25	+10.8%	+12.1%	270	+14	+5.5%	+5.9%
内 Flooid	50	57	+7	+14.0%	+15.6%	70	+13	+22.8%	+21.8%
アジア	191	170	-21	-11.0%	-10.0%	180	+10	+5.9%	+6.2%
内 GGS	154	151	-3	-1.9%	-1.3%	155	+4	+2.6%	+3.6%
内 Acrelec	37	19	-18	-48.6%	-45.9%	25	+6	+31.6%	+25.9%
合 計	2,100	2,160	+60	+2.9%	+4.1%	2,240	+80	+3.7%	+4.2%
内 GGS	1,481	1,526	+45	+3.0%	+4.2%	1,550	+24	+1.6%	+2.2%
内 Sitrade	166	200	+34	+20.5%	+22.2%	180	-20	-10.0%	-9.9%
内 Acrelec	332	327	-5	-1.5%	-0.1%	365	+38	+11.6%	+12.0%
内 Flooid	121	107	-14	-11.6%	-10.1%	145	+38	+35.5%	+35.3%
実績為替 レート	ドル	153 円	151 円	2 円の円高	計画為替 レート	ドル	150 円	1 円の円高	
	ユーロ	164 円	175 円	11 円の円安		ユーロ	170 円	5 円の円高	